

2021 年 12 月 9 日

株式会社 HARTi
株式会社小田急 S C ディベロップメント

商業施設で NFT (Non-fungible token) 販売実証実験

「HARTi Gallery」新宿ミロードに期間限定開設

現代アーティスト・KATHMI 氏のクリスマス限定個展開催

<期間：2021 年 12 月 13 日（月）～12 月 26 日（日）>



NFT アート イメージ

株式会社 HARTi（本社：東京都千代田区、代表取締役：吉田 勇也、以下 HARTi）、株式会社小田急 S C ディベロップメント（本社：東京都新宿区、代表取締役：下岡 祥彦、以下小田急 S C ディベロップメント）は、「新宿ミロード」において、NFT（※）アートのポップアップ型ギャラリー「HARTi Gallery」を 2021 年 12 月 13 日（月）から 12 月 26 日（日）まで開設いたします。

※NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）：代替の効かない一点もののアートやアイテムなどに対して付与されるブロックチェーン（分散型台帳）技術（データの改ざんや複製を防ぐため、保有者と著作権者の権利の証明や、権利の移転取引を可能にするとされる）を活用したデジタルデータのこと。（引用：ビジネスターマール NFT、日経テレコン、<https://onl.tw/1MssiDf>, (2021 年 11 月 24 日)）

期間中「HARTi Gallery」では、現代アーティスト・KATHMI の個展を開催します。会場には 3 点のアート作品の原画が登場。作品の「デジタル版画」として、NFT 化も行い、NFT 作品は当社の NFT プラットフォーム「HARTi」にて、12 月 13 日（月）10:00 より販売を開始します。

■「HARTi Gallery」実施背景

2020 年世界のアート市場規模は約 5 兆 4720 億円、うち日本国内の市場規模は 2,363 億円で成長余力の大きい市場であると言えます。(※1)また、国内アート取引の約 7 割は百貨店、ギャラリー、アートフェアが占めており(※2)、都市型商業施設におけるアート販売の可能性と市場へのインパクトは未知数です。加えてブロックチェーン技術の一つである NFT (Non-Fungible Token) がアートマーケットに与える将来的なインパクトは大きく、こうした新しいデジタル技術を受け入れ、市場の健全な発展に様々なキープレイヤーが関わることで、長期的には既存のアート市場に加えて新たな市場の創造が期待されます。

※1・2 出典：「日本のアート産業に関する市場調査 2020」(一社)アート東京、(一社)芸術と創造

このようなアート市場の背景から、オフラインにおけるお客さまとの接点を構築し、「アート」や「NFT」を身近に感じることで、NFT プラットフォーム「HARTi」をご利用いただきたい HARTi と、物販のみに捉われない新しい顧客体験の提供を目指す小田急 S C ディベロップメントとの思いが一致し、このたび新宿ミロード 7 階の特設スペースにて、NFT アートのポップアップ型ギャラリースペース「HARTi Gallery」を開設することとなりました。

新宿エリアは、交通の要衝として従来より高い地域ブランド力を持っており、老若男女広く利用のある日本最大のターミナルである新宿駅に直結する新宿ミロードで、新しい商業施設の体験価値の提供に取り組めます。

期間中は、KATHMI 氏の作品を個展形式にて展示します。単なる短期的なアートイベントの開催という趣旨ではなく、UGC (User Generated Content) を生む体験設計や、テクノロジーを活用した商業施設におけるアートや NFT がもたらす集客効果について、定量的な可視化を行うことが本実証実験の目的です。

本取り組みを通じて、店舗に来店するお客さまと NFT プラットフォーム「HARTi」を利用するお客さまの相互連携・相互送客と、NFT 技術に関する認知と信頼性向上、アートを活用した店舗における体験価値向上に繋げて参ります。

今回の実証実験は小田急電鉄株式会社が参画する、「KDDI ∞ Labo」(KDDI 株式会社が運営)のマッチングにより実現したものです。

■「HARTi Gallery」実施概要

名称：「HARTi Gallery」

期間：2021 年 12 月 13 日 (月) ～ 2021 年 12 月 26 日 (日)

※予定は告知なく変更する場合がございます

場所：新宿ミロード 7 階 特設会場

内容：現代アーティスト・KATHMI の原画販売会・NFT 販売会の開催

NFT プラットフォーム「HARTi」(<https://harti.tokyo/>)での作品販売

※12 月 13 日 (月) 10:00 より販売開始

※詳細情報は HARTi 公式 Twitter (@hartiofficial) で発信します

■ KATHMI 氏プロフィール

福岡出身。10代の頃からグラフィックデザイン及びアートに携わる。九州産業大学芸術学部デザイン科を經由し、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン3年次編入、京都芸術大学通信過程芸術教養学部卒。NY や海外のストリートアートやミューラルにインスパイアを受け、現在は都内を中心にオフィスや店に数々のウォールアートを絵画する。色彩豊かに、パワーに溢れたタッチが特長的。リアルイラストレーションからデフォルメ、デザインまで見た物を応用して新しく作り出し、美しさや魅力的な理想を追い求める。最近では、ARTBATTLE 2019 Tokyo で Champion に輝くなど、近年注目されているアーティストの1人である。

■ 株式会社 HARTi について

【代表取締役 吉田勇也コメント】



HARTi は 2021 年 3 月、NFT 事業に参入しました。4 月には MoMA コレクションアーティスト・土佐尚子氏の作品の NFT オークションを OpenSea で実施。弊社のビジョン「感性が巡る経済圏」の創造へ向けて、NFT 技術のアート業界への実装へ向けて取り組みを進めてまいりました。その中でコロナ長期化で苦しみ商業施設の存在を目の当たりにしました。商業施設と

アートの関わりは短期イベントや、画廊の入居等に限られ、新進気鋭のアーティストの作品販売事例はまだ少ない現状にあります。日本人の 8 割強は生涯で一度もアート作品や関連グッズを購入したことがないという課題を前に、日本のアートエコシステム新興のため、まず商業施設に代表されるリアル店舗でのアート体験を増やし、日常的にアートに触れる機会を創造することが我々のミッションだと考えております。その過程で商業施設の集客の実現、NFT 技術の導入で集客の効果測定、長期的なファンコミュニティの育成も行うことができます。商業施設とアート産業の課題を同時に解決できるソリューションとして、HARTi は NFT 技術の導入と、アーティストの持続的活躍を全力でサポートしてまいります。

【会社概要】

設立 : 2019 年 2 月 18 日

本社 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号 郵船ビルディング 1 階

海外拠点 : 北京市海淀区清华大学明斎 349 (清华大学内)

代表者 : 代表取締役 CEO 吉田 勇也

資本金 : 34,942,306 円

事業内容 : アートコンサルティング事業「HARTi for Business」

NFT プラットフォーム事業「HARTi」

【施設概要】新宿ミロードについて

1984 年に開業、新宿駅に直結した大型商業施設です。20 代の女性をターゲットにしたファッションフロアやレストランフロア、新宿駅西口と南口をつなぐオープンモールのモザイク通りなど、約 120 店の専門店から構成されています。

・ URL : <https://www.odakyu-sc.com/shinjuku-mylord/>

・ 営業時間（12 月 9 日現在）：

モザイク通り・1 階 10:00~21:00

ファッションフロア 11:00~21:00

レストランフロア 11:00~22:00

※一部店舗により異なります。

※現在営業時間を短縮しております。

※今後も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業体制を予告なく変更する場合がございます。最新の情報は新宿ミロード公式ホームページをご確認ください。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 HARTi 担当：代表取締役 CEO 吉田 勇也 Email : yuya.yoshida@harti.tokyo

株式会社小田急 S C ディベロップメント コーポレート部 TEL : 03-3349-2131